

健康通信

腎臓移植について



▲泌尿器科 腎移植センター部長 上平 修

腎臓とは

腎臓は体の中の余分な水分と老廃物を外に出し、電解質のバランスを保ち、血液を作るホルモンを作ったり、血圧を上げるホルモンを作るなど様々な働きをします。腎臓が悪くなると、当初はむくんだり血圧が高くなりますが、さらに顔色が悪くなり、足がむずむずする、痒みが起るなど様々な症状を引き起こし、放置すれば体に水が溜まりすぎて肺水腫や心不全をおこします。最終的にカリウム濃度が上がれば、心臓での電気信号がうまく伝わらずに心臓が

市民病院より

止まってしまう。

肝腎要という言葉があるように腎臓は人間が生きるにあたり、なくてはならないとても重要な臓器と言えます。腎臓は通常5倍の予備能力を持っていますが、これは肝臓などと違い再生がきかないためでもありません。そのため、少しづら機能が悪く落ちても何も症状は起こりません。症状が出たときにはすでに、機能がかなり低下しており、さらに進行すれば、命に関わる危険な状態になります。

腎臓移植の現状

こうなると、治療は腎臓を治すというより、腎臓の機能を補ってやることとなります。腎臓の機能を代替する治療として血液透析、腹膜透析とともに腎臓移植があります。腎臓のホルモンの分泌機能なども含めて、全ての機能を肩代わりするには腎臓移植しかありません。腎臓移植は日本でも2006年に年間1,000人を超え、現在は約1,600人まで増えています。移植というと、とても特殊な治療と思いがちですが、薬の進歩により、今では血液型が違ったり、夫婦など

問合先 市民病院（☎76・4131）

全く血のつながりのない間柄でも比較的安全に行えるようになりました。問題は、腎臓を提供してくれる方（ドナーといいます）が必要なのです。

ドナーには亡くなった方と生きている方がありますが、亡くなる方からの移植の場合、移植を希望する患者様は登録して待機します。しかしドナーの腎機能が正常で死因が悪性腫瘍でないなどいくつかの条件がありますので、この種の移植はなかなか増加しません。現在は平均15年以上待つことも、希望通り移植を受けることができない人は待機患者の1%です。ブタなどの他の動物の腎臓を使ったり、ips細胞から腎臓を作り出す研究が行われていますが、実際に人間に应用されるにはまだ時間が必要で、そのため生体腎移植がふえてるのが現状なのです。



◆お知らせ

市民病院臨時・嘱託職員募集

■管理栄養士

人員 1人程度
 対象 管理栄養士資格取得者
 勤務 月々金曜日 午前8時30分～午後5時

月給 239,500円（一時金無）

■看護補助業務

人員 5人程度
 勤務 原則として週5日午前8時30分～午後5時（土・日・祝・年末年始含む）

対象

- ①ホームヘルパー2級（介護職員初任者研修）取得者
- ②経験・資格不問（看護助手や介護業務経験のある方歓迎）

時給

- ①1,020円（土・日・祝・年末年始の場合は1,070円）
- ②920円（土・日・祝・年末年始の場合は960円）

提出書類

- ・履歴書（写真貼付）
- ・資格免許証の写し（資格取得者のみ）

勤務開始日 9月1日（火）

応募・問合先 7月31日（金）（必着）

までに直接または郵送で市民病院総務課（〒485・8520）

住所不要 ☎76・4131へ

※後日面接予定